

市政を問う

一般質問は21人の議員により4日間にわたって行われました。新型コロナウイルスワクチン接種や資源・ごみ分別アプリの概要、ツキノワグマ被害対策など広範な市政課題について質問がありました。



小笠原 秀夫
(盛友会)

このほかの質問
・子どもの貧困の連鎖を止める施策
・マンションなどの避難場所の確保
・HPVワクチン

ひとり親家庭等医療費の給付対象

問 18歳に達する年度末までの児童という給付対象について、年齢を引き上げるべきでは。

答 現在の給付は県の事業を活用して実施しており、対象年齢の見直しは市単独で行う必要がある。ほかの生活困窮者や疾病のある人との整合性を考慮し、慎重な検討が必要だと考える。

家畜の臭気問題への対応状況

問 東安庭・見石地区では家畜による悪臭に悩まされている。苦情の把握と対応状況は。

答 苦情発生時には現地確認の上、事業者が悪臭防止対策を依頼し、悪臭発生防止に取り組んでいることを確認している。引き続き適切な助言を行い、良好な環境づくりに努める。



後藤 百合子
(盛友会)

このほかの質問
・バスセンター整備への県の支援
・ワクチンの効用に対する医学的見地に基づく見解

バスセンター整備事業への見解

問 盛岡バスセンター整備事業では、共同事業者から建設事業者が脱退したが、見解は。

答 建物の構造検討に時間を要し設計が遅れた経緯は把握していたが、脱退に関する詳細な内容は把握していない。事業者から満たすべき機能が合理的な価格で提案されず、残念である。

動物公園再生事業の現状

問 動物公園再生事業に関する土木工事では、協議事業者が辞退したと聞かすが、認識は。

答 民間のノウハウを生かしたコストの合理化や工法の提案などを施工者側に期待していたが、事業者と認識の食い違いがあった。5年度のオープンに向け事業者と連携し事業を進める。



鈴木 努
(日本共産党市議員)

このほかの質問
・事業者向け市独自支援金の創設
・プラザおでっへのWi-Fi整備

高齢者のワクチン接種予約支援

問 インターネットに不慣れな高齢者でも安心して新型コロナウイルスワクチン接種の予約ができるよう、サポート会場の設置を検討すべきでは。

答 老人福祉センターなど市内公共施設で操作支援窓口の設置を進めており、すべての高齢者が3年7月末までに接種できるよう努める。

集団的個別接種時の交通手段確保

問 新型コロナウイルスワクチンの集団的個別接種実施時に、会場までの移動手段として臨時バス運行などの対応が必要だと考えるが、検討状況は。

答 各会場とも、接種会場と最寄りの駅やバスターミナル、臨時駐車場を往復する輸送バスの運行について、準備を進めている。



市民の期待に応えリニューアルを



林業機械の導入で成長産業化を



支援を充実させ早期の接種完了を



市産材の製品化支援

問 市産材の迅速な製品化のため、乾燥施設や機械の導入支援と、製材業者との連携による需要拡大が必要だと考えるが、所見は。

答 機械購入に対する国の補助制度の活用を促すほか、林業関係者と連携を強化し、森林管理の適正化と林業の成長産業化につなげていく。

さら地を利用した好摩駅前開発

問 利用価値が高い好摩駅西口のさら地を市が取得し、まちづくりに活用しては。

答 宅地分譲されると聞いている。好摩駅周辺は、市立地適正化計画で居住誘導区域となっており、計画の方針に合致していることから、今後の動向を注視していく。



高橋 和夫
(日本共産党市議員)

このほかの質問
・好摩駅前県道の歩道整備への対応
・公共交通空白地の交通対策



大畑 正二
(創盛会)

このほかの質問
・コミュニティ・スクール制度
・災害対策基本法改正とマイ・タイムライン

再犯防止の重要性

問 市が再犯防止推進計画を策定した背景は。また、再犯防止の重要性について、見解は。

答 市の刑法犯の検挙件数は減少し続ける一方で、再犯者率は年々増加している。誰もが安心して暮らせる地域社会の実現のためには、再犯の防止が非常に重要な課題だと認識している。

放課後児童クラブの整備目標

問 放課後児童クラブを5年度までに15クラブ整備する計画の達成について、見通しは。

答 元年度と2年度で6クラブを整備済みであり、3年度から5年度で9クラブの整備を予定している。今後も児童の安全・安心な放課後の居場所の確保に向けて取り組む。



伊勢 志穂
(市政クラブ)

このほかの質問
・コロナ後遺症の治療費への支援
・コロナ発生前と異なる職業訓練
・成年後見制度

自死者の年代別の動向と理由

問 コロナ禍で全国的に女性と子どもの自死が増えていると聞く。本市の動向と理由は。

答 40、50代が43.1%、60歳以上が41.4%、39歳以下が15.5%で、男女比は男性が63.8%、女性が36.2%である。主な原因は上位から健康問題、経済・生活問題、家庭問題である。

身元保証を行う団体との連携

問 市内には高齢者支援として保証人代行などを行う団体があるが、連携について所見は。

答 地域包括支援センターが身元保証を行う団体を紹介するなど連携している。団体から高齢者支援の現状や課題について意見を聞き、さらなる連携について意見交換を行う。



鈴木 一夫
(市政クラブ)

- このほかの質問
- ・空き家の行政代執行の見込み数
 - ・電力自給上昇率の試算
 - ・JR山田線

地域の貢献度に応じた空き家対策

問 各地域が納めた市税の一定割合を地域に還元する「地域別枠配分査定制度」を設け、貢献度に応じた空き家再生や利活用を推進しては。

答 空き家や空き地が多い地域ほど予算配分が小さくなり、施策実施が難しくなる課題がある。各地域と協働し、地域課題の解決を図る。

環境エネルギー部への名称変更

問 エネルギー政策の強化を図るため、環境部から環境エネルギー部へと名称を変更し、政策に取り組む姿勢や意気込みを示しては。

答 脱炭素社会の実現に向けた実効性のある取り組みを推進していきたいと考えており、当面は現行組織で対応する。



三田村 亜美子
(日本共産党市議団)

- このほかの質問
- ・学校施設への生理由品配置
 - ・高校・大学の授業料一律半減免除

市産米を活用した食料支援策

問 コロナ禍で需要が減少している米を活用し、生活困窮者や学生に食料支援を実施しては。

答 生産者からも厳しい状況と聞いており、消費拡大の観点からも意義がある。帰省できない学生に「もりおかエール便」で市産米を届けており、今後も関係団体と支援を検討する。

保育補助者の確保

問 保育所の人員不足は深刻で、新型コロナウイルス感染症の対応を行うスタッフの確保は困難である。保育補助者を市が確保し、支援すべきでは。

答 保育関係者から補助者配置の支援要望を受けており、現場のニーズは高いと認識している。市の事業活用など、支援方法を検討する。



竹花 せい子
(市政クラブ)

- このほかの質問
- ・ICT教育研修
 - ・学校事務職員の36協定締結状況
 - ・ICカード・タイムカードの配備

男女均衡に向けた審議員の選考

問 委員や審議員の選考に当たり、各行政機関や地域に対する市の対応は。

答 女性人材リストの整備や女性登用率調査、女性の推薦依頼などに取り組んだほか、公募時にホームページ上で女性参画を呼び掛けるなど、市民全体の意欲喚起に努めている。

スクールサポートスタッフの配置

問 新型コロナウイルス感染症対策として市独自予算でスクールサポートスタッフを配置すべきでは。

答 市内全小学校と一部中学校に2学期までは配置が可能である。未配置の中学校や3学期以降の全学校への配置について、国や県に強く要望するとともに、市独自配置も検討する。



もりおかエール便で学生支援



◆用語解説

スクールサポートスタッフ

教師の負担軽減を図り、教師がより児童生徒への指導や教材研究などに注力できるよう、学習プリントなどの準備や採点業務、来客・電話対応、新型コロナウイルス感染症対策の消毒作業などをサポートする人材。

(文部科学省ホームページより)



不登校特例校の設置

問 岐阜市では、不登校児童の実態に配慮した特別な教育課程を編成する「不登校特例校」を設置している。本市も設置を検討すべきでは。

答 不登校対策は重要課題である。特例校設置は現在考えていないが、岐阜市の取り組みも調査研究し、不登校対策事業の参考にする。

芸能人による盛岡の魅力発信

問 盛岡の魅力発信を、本市に移住したお笑いコンビ天津の木村さんに依頼しては。

答 発信力のある著名人と連携したプロモーションには、幅広い層からの支持や全国的な注目度の高まりなど、大きな効果がある。盛岡に縁のある著名人の活用積極的に取り組む。



大谷 陽介
(市政クラブ)

- このほかの質問
- ・市長と教育長が考える理想の教育
 - ・観光資源としてのスポーツ施設のPR



太田 隆司
(公明党)

- このほかの質問
- ・奨学金返還支援制度の拡充
 - ・PCR検査センターの設置

コロナ禍での生活資金貸付事業

問 コロナ禍で困窮した世帯を対象とする緊急小口資金や総合支援資金を利用する世帯数は。

答 2年度は、緊急小口資金として1426世帯へ2億5874万円、総合支援資金として737世帯へ4億6838万円を貸し付けた。限度額に達し貸付できない世帯は143世帯あった。

ドクタータクシーによる訪問接種

問 医師がタクシーで訪問し診療する「ドクタータクシー」を活用し、ワクチン接種会場まで自力で行けない人に訪問接種しては。

答 訪問型接種の実施にかかる負担が大きいと考えており、タクシー活用による費用をかかり増し経費として支給する方向で調整している。



庄子 春治
(日本共産党市議団)

- このほかの質問
- ・屋内運動場改修
 - ・五輪開催についての所見
 - ・祭りやイベントへの取組方針

高校統合と中学生の進路

問 盛岡南高校と不来方高校の統合は、都南地域の中学生の進路の選択肢を狭めるのでは。

答 特に都南地域の中学生の高校の選択肢を狭めるもので、影響は大きい。各学校において、子どもの思いや不安を受け止め、よりきめ細かな進路指導を行う必要がある。

小中学校校舎安全対策改修計画

問 計画完了で全小中学校の安全対策は終了するのか。また、城北小学校、黒石野中学校、北松園中学校の修繕が計画に含まれない理由は。

答 すでに大規模改修を計画している学校は、安全対策に重点を置き改修し、3校については、新設や大規模改修後20年目をめどに修繕を行う。

市政を問う



伊達 康子
(公明党)

このほかの質問
・改修後の学校施設のトイレに関する利用実態調査

祖父母手帳の発行

問 共働きの子育て世代にとって最も身近で頼りになる祖父母が、現在の子育ての情報を得られるように祖父母手帳を発行しては。

答 他都市の事例を研究するとともに、市内の子育て支援団体と意見交換を行い、祖父母の子育てを効果的に支援する方法を検討する。

通級指導教室へのエアコン設置

問 通級指導教室は夏季でも窓を閉め切るため、エアコンを早急に設置すべきだが、見解は。

答 ことばの教室など市立小中学校に延べ22教室があるが、児童生徒が授業に集中するため早急な対応が必要だと認識している。3年度は8教室に設置し、今後も順次設置に努める。



豊村 徹也
(創盛会)

このほかの質問
・コロナによる精神的、経済的危機
・次期都市計画道路整備プログラム期間終了時の進捗

児童生徒のマスク着用の考え方

問 マスク着用のまま体育の授業を受けた児童の死亡事案が他都市で発生した。本市の児童生徒のマスク着用に対する基本的な考え方は。

答 身体的距離が十分にとれない場合は着用し、健康被害が懸念される場合や体育の授業時などは、着用しなくてもよいこととしている。

新型コロナワクチン接種のリスク

問 接種に当たり、リスクを含めた正確な情報を伝える必要がある。市民に配布した案内には特例承認に関する説明がないが、見解は。

答 同封の説明書でリスクも含めたワクチンの説明をし、予診票に理解の確認欄を設けており、同意の上での接種になると認識している。



神部 伸也
(日本共産党市議団)

このほかの質問
・国保税の子どもの均等割軽減
・情報の自己決定権を保証する制度整備

公民館へのWi-Fi環境整備

問 デジタル化に対応した公民館運営のため、Wi-Fi環境整備が必要だと考えるが、所見は。

答 市民からの要望が多く、市民サービスの観点からも通信環境整備の必要性は認識している。利用者の意見を聞き、必要な通信範囲と安全な使用環境を精査しながら検討していく。

住宅リフォーム事業の実施

問 エネルギー効率を重視したリフォーム事業に取り組み、産業振興と地球温暖化対策を図るべきだと考えるが、所見は。

答 事業実施は市内経済回復に寄与し、地球温暖化対策の推進につながると認識している。実施に向け、庁内連携を図り事業者と協力する。



中野 孝之助
(盛友会)

このほかの質問
・バス事業者の経営状況と支援
・都南村合併記念タイムカプセルの前倒し開封

バス路線再編に向けた検討

問 新型コロナウイルス感染症と少子化の影響で、バス事業者は苦しい状況にある。市と事業者で効率的な路線再編を検討すべきでは。

答 持続可能な公共交通の実現のため、交通事業者と相談しながら、どのような支援をするべきか検討していく。

都南村合併30周年記念事業

問 4年度に都南村との合併30周年を迎えるが、記念事業の検討状況は。

答 記念シンポジウムや都南地域の伝統芸能の舞台発表、公共施設と連携した企画展示に加え、庁内では合併30周年を冠した事業の募集を検討しており、団体や地域と連携して取り組む。



千葉 伸行
(盛友会)

このほかの質問
・公共施設整備における国の支援
・官民連携の課題
・子ども科学館の改修計画

新市庁舎構想

問 新市庁舎の建設に当たり、あらゆる角度からあるべき姿を検討する必要があるのでは。

答 現市庁舎が抱える課題の解消を図るとともに、各分野における計画や方針を踏まえ、全市的な視点の検討が必要である。市民の意見を聞き、多くの人々に愛される新市庁舎像を描く。

出産から一貫した子育て支援

問 産後ケアの充実と、出産から子育てまで一貫して対応できる施設整備について所見は。

答 産後ケアについては、すでに実施中の訪問型に加え、通所型実施に向けて現在準備を進めており、今後短期入所型にも取り組む。施設整備については、他都市の事例を調査研究する。



池野 直友
(公明党)

このほかの質問
・3R推進の取り組み
・新野球場の植樹構想

資源・ごみ分別アプリの概要

問 3年7月から本格運用される資源・ごみ分別アプリについての概要は。

答 盛岡・都南・玉山地域の収集日程の表示やごみの品目検索などが可能であり、すでに千回以上ダウンロードされている。外国語表記にも対応し、若年層や外国人の利用促進を図る。

中央卸売市場の場内業者への支援

問 コロナ禍から市場を守り、維持するため3年度に予定している場内業者への支援は。

答 2年度は、新型コロナによる影響が大きい13者の施設使用料を総額で約350万円減額した。3年度は、国の支援策や場内業者の取扱高の推移などを注視し、適切に判断する。



浅沼 克人
(盛友会)

このほかの質問
・学生が地域企業を知る機会の提供
・都南つどいの森
・小規模多機能自治と支援体制

クラウドファンディングの導入

問 京都市は再生医療の技術開発費用をガバメントクラウドファンディングを用いた寄付により調達した。本市でも導入を検討すべきでは。

答 特定の事業において新たな資金調達の手段となり、有効だと認識している。導入可能な事業について、庁内で引き続き検討を進める。

民俗芸能の映像公開と継承支援

問 活動を休止している上羽場地区の山伏神楽の継承支援のため、映像を公開することが有効だと考えるが、所見は。

答 都南村合併30周年企画展で上映を検討するほか、PR動画を作成しインターネットや図書館で公開するなど、情報発信を予定している。



収蔵：都南歴史民俗資料館

民俗芸能の伝承に向け情報発信を



盛岡の食に携わる業者の支援を

※一般質問の録画映像を配信しています。
スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



田山 俊悦
(盛友会)

このほかの質問
・凍霜害の発生状況と被害見込額
・民俗文化の継承に向けた取り組み

凍霜害を受けたりんご農家の支援

問 凍霜害の影響を受けたりんごについて、加工品の販売や学校給食へ取り入れるなど、支援を行うべきだと考えるが、所見は。

答 イベントなどで規格外品を出荷販売する機会を設けたり、翌年以降の生産面で支援するなど、生産者の意欲を維持できるよう取り組む。

全庁をあげたツキノワグマ対策

問 ツキノワグマの出没は、農業被害にとどまらず人命が脅かされる恐れもある。市民を守るため、全庁横断的に対策に取り組むべきでは。

答 出没情報を速やかに学校や福祉施設などと共有し、役割分担しながら人身被害を防止するとともに、市民へいち早く情報提供する。

◆用語解説

凍霜害

りんごなどの果樹が発芽してから開花する時期にかけて、低温に遭遇したり霜が降りたりすることで、生育に悪影響を及ぼすこと。着果不足、果実の変形や表面に特有の傷がついて品質が低下するほか、樹木そのものの生育にも悪影響がある。

(岩手県ホームページより)



幅広い世代から優秀な人材を募集



野中 靖志
(市政クラブ)

このほかの質問
・市くらしの相談支援室の相談対応状況

市職員募集時の年齢制限緩和

問 職員募集の年齢制限を緩和し、就職氷河期世代の雇用支援と優秀な人材確保に努めては。

答 元年度から39歳を上限とする社会人枠の採用試験を導入した。3年度実施の試験では就職氷河期世代枠や移住定住枠を新たに設け、社会人枠よりも年齢制限を緩和する予定である。

新たな給付金制度の実施予定

問 国では新たに新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を設立したが、国からの情報の把握と対応の状況は。

答 支給対象が示され、可能性がある人は把握している。早期支給の準備を進めており、確実な申請を促すために事前周知を検討中である。

議員の表彰

次の議員が全国市議会議長会の表彰を受けました。

議員在職 30年以上 表彰

鈴木 俊祐

工藤 由春

※令和3年5月26日表彰

会派の意見

本会議において、各会派が市長提出議案に対して意見を述べる討論が行われました。各会派の討論の要旨をお知らせします。

★すべての議案番号と議案名は、8ページに一覧表として掲載しています。

盛友会

全議案に賛成

議案第70号は、道の駅整備に当たり、アクセス性の向上や3つのゾーン整備を図り多くの人でにぎわう地域の拠点となるよう、5年度の開業に向け整備されたい。コロナ感染対策として障がい児施設などの水道蛇口をレバー式に変更するが、成人の障がい者の感染予防のため、通所施設などの感染対策も図られたい。動物公園リニューアル工事に関する債務負担行為補正は、公民連携事業システムを根幹から再検討すべきである。議案第82号は、周辺地域の住宅造成によりさらなる児童数増加が予想されることから、新小学校の構想や学区見直しを十分に検討されたい。

市政クラブ

全議案に賛成

議案第70号は、新型コロナウイルス感染症対策として、安全・安心な盛岡さんさ踊りの開催に要する費用が計上された。市政執行上必要な措置だと認めるが、盛岡さんさ踊りについては、開催の可否と、開催する場合は感染症対策を速やかに明らかにするよう求める。64歳以下の新型コロナワクチン接種率が社会活動や地域経済に大きな影響を与えることから、大規模接種や職域接種を含む接種率向上に向けた取り組みや、地域経済の回復に向けた支援などについて、国や県の補助活用や市独自財源の投入も視野に入れ、早期の補正予算編成に当たられたい。

日本共産党市議団

全議案に賛成

議案第70号は、盛岡・北上川ゴムボート川下り大会や盛岡さんさ踊りに係る感染症対策経費が計上された。市で今後予定されているイベント事業について、感染拡大を絶対に防ぐという観点から、開催について慎重に検討するよう求める。また、総合型地域スポーツクラブの設立補助費が計上されたが、既存クラブには同様の補助制度がないため、支援の検討を求める。議案第81号は、生活困窮世帯が必ずしも新たな就労や生活保護受給に結び付いていない実態に丁寧に対応し、緊急小口資金などの支援制度利用に至っていない市民に対し、周知を図るよう求める。

創盛会

全議案に賛成

議案第70・81号は、合計で1億925万円の増額補正予算であるが、その大半は新型コロナウイルス感染症対策に関係する予算である。本市の感染状況は、いまだに収束の兆しが見えない状況であり、地域経済へのダメージは非常に大きい。現在、65歳以上の高齢者に対するワクチン接種が進められており、3年7月末までの接種完了を目指して日程の繰り上げも行われているが、これまでの新型コロナウイルス感染症対策も含め、あらゆる施策を総動員し、早期の感染の収束と地域経済の回復、発展に向け、一丸となって取り組まされたい。

公明党

全議案に賛成

議案第70号は、文化会館活動事業として、オペラ公演の魅力を発信する事業への補助経費が計上された。コロナ禍により文化・芸術活動が制限される中、中高生が本物のオペラに触れる機会を得られるとともに、文化施設の利活用につながり、芸術文化関係者の機運醸成が図られることから評価する。議案第81号は、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う生活困窮世帯の新たな就労や、生活保護の受給に移行するまでの支援策として有意義だが、対象世帯はさまざまな事情を抱えているため、自立支援につながる寄り添った相談体制の構築を求める。